

令和元年度 第3回 帯広市都市環境デザイン委員会議事概要

日時：令和元年10月1日（火）10：00から

場所：帯広市役所10階第5B会議室

出席委員

赤嶺委員長、門副委員長、青木委員、小村委員、成田委員、府川委員、紅葉委員
事務局

大橋都市計画課長、池田計画担当課長、奥秋計画係長、
涌井主査、中鉢主任、阿部係員

議事概要

- 1 開 会
- 2 委員長挨拶
- 3 議 題

(1) 第15回 帯広市まちづくりデザイン賞の選考について

応募案件について現地視察を行い、各委員が評価した内容を基に協議を行い、総合的に委員会として判断した結果、以下の通り選考しました。

《最優秀賞》高堂建設株式会社 新社屋

《特別賞》salon 齋藤亭

【事務局】

今後、事務局において受賞決定後、報道機関、市のホームページで発表するほか、委員長、副委員長に出席いただき表彰式を行います。

(2) 歩きたくなるまち発見事業 平原通に係わる協議

第2回デザイン委員会で視察した平原通及び、事業の概要に係わる説明を事務局より行いました。

主な意見・質疑は以下のとおりです。

【委員】

前回の平原通のまち歩きの内容だと、帯広市の他部局やシーニックバイウェイで行っているものと似てくる。どのように差別化をしていくか、考えていくべきである。

【委員】

都市計画の観点で行うのであれば、丁目を表す歩道の舗装や、植栽の剪定についてなどに絞った方がいいのではないか。

【委員】

剪定の体験や見学など、都市計画の観点でも色々ネタはあるのでは。「インターロッキングブロックとは何か」など、役所の人にはわかっているけど、案外知らない人が多い、小ネタがあるのではないか。

【委員】

まち歩きの際にガイドの存在は重要である。パンフレットの作成のみではおもしろみがない。

【委員】

帯広川沿いには桜がたくさん植えられている。今後素晴らしい景観を生み出す可能性があるが、管理も重要である。花見ができる場所なども、歩きたくなる場所になってくるのではないか。

【委員】

テレビ局が行っているようなまち歩きの番組を、ケーブルテレビなどを活用して、作成するのもいいのではないか。

【委員】

足が止まるようなゲームなど、まちの魅力を引き出せるようなプラスアルファが必要である。

【委員】

川沿いを歩きたいと思わせる仕掛けも必要である。

【委員】

十勝・帯広は川が多い地域である。そのアイデンティティを発揮していくことが必要である。

【事務局】

頂いた意見を参考に、今後の作業を進めていく。

4. アジア都市景観賞の受賞について

「2019 アジア都市景観賞」に当市から応募申請を行っていた「帯広の森造成事業～市民参加による都市と農村の交流エリアづくり～」が選出されたことを、委員会に報告いたしました。

5. 閉 会

以 上